

最強カワハギロッド登場 がまかつ EX SIGNAL KAWAHAGI

●カワハギのエキスパートモデルとして、がまかつが満を持して発売するのが今回の新製品。主なスペックは、高弾性素材、穂先はテクノチタニウムソリッドII (179SS) とスーパートップ (175AR、172AC) の2種、エクストラセンサー、グリップジョイント、ティップ部チタンフレーム SiC リングガイド、スパイラルガイドセッティングなど搭載。10月発売予定



★竿に刻印された「KTS」はキネティック・テクノロジー・システムの略だというのが、克則・田中・忍モデルとも理解できる

179SS 鶴岡モデル
★このモデルだけ柔軟で強度があって高感度なチタンソリッド採用。柔軟モデルでありながらキャスト性能、合わせも決まるバットパワーを持つ

175AR 三石モデル
★ゼロテン、誘い上げ、誘い下げなど幅広く対応するオールラウンドモデル。柔軟なスーパートップと張りのある元部で操作性、反響感度、目感度がバランスよく整っている

172AC 田中モデル
★全体的に張りを持たせて手感をアップ。オモリを背負ったままでのコントロール性能、荷重変化の察知にも優れ、簡単に掛けるタイミングを教えてくれる

竿の曲がり



※オモリ30号使用時

タイプ	標準全長(m)	継数(本)	標準自重(g)	仕舞寸法(cm)	錘負荷(号)	希望本体価格(円)
179SS	1.79	2	78	143.0	20~30	64,000
175AR	1.75	2	78	139.0	20~30	59,500
172AC	1.72	2	78	136.0	20~30	59,500



●三石さんは尺近い大型を連発



▲田中さんがわずかにリードしてこの日の釣りを終えた
▶もちろん仕掛け、オモリはがまかつ製品



▲当日は右舷ミヨシに3人並び、主に久里浜沖をメインに探った

179SS

▲独特の両手持ち。キャストメインの横の釣りを多用する鶴岡さん

175AR

▲シットイングスタイルで様々な釣法を駆使する三石さん

172AC

▲田中さんは宙の釣りが得意だが、キャストの釣りへも対応可能とのこと

続報!!



175AR 三石モデル

179SS 鶴岡モデル

三石忍 鶴岡克則 田中義博
ついにそのスペックを明かす

今秋発売、最強カワハギロッドの正体

EX SIGNAL EX SIGNAL KAWAHAGI

●すべてスパイラルガイドセッティング

●右がチタニウムソリッドのSS、真ん中のARと左のACはスーパートップ仕様
●3本のモデルはそれぞれの個性を持たせた仕上がりとなっている

●前号でお伝えしたとおり、いよいよがまかつから今秋、最強カワハギロッドの誉れ高い製品が発売される。その名も「EX SIGNAL KAWAHAGI (エクシグナルカワハギ)」である。開発に携わった三石忍、鶴岡克則、田中義博の3氏に実釣現場でその正体をお聞きました。



172AC 田中モデル



▲高感度リザウンドグリップ採用

▲マジョーラ仕様のデザイン。モデルによってカラーも変えてある

175AR 三石忍

「本来はエキスパートモデルなんですけど、初心者でもオールマイティに、どんな状況でもオールラウンドに使えるベーシックモデルです。といっても掛持ち竿に仕上がりました」

179SS 鶴岡克則

「3モデルの中では一番柔軟なタイプです。柔軟な穂先とバットパワーの組み合わせは僕の理想どおり、柔らかな誘いができ、手感でアタリを取り、目感度で合わせていける調子と感度を持つ竿に仕上がりました」

「3モデルはそれぞれ個性を持たせた仕上がりとなっている」

「前号でお伝えしたとおり、いよいよがまかつから今秋、最強カワハギロッドの誉れ高い製品が発売される。その名も「EX SIGNAL KAWAHAGI (エクシグナルカワハギ)」である。開発に携わった三石忍、鶴岡克則、田中義博の3氏に実釣現場でその正体をお聞きました。」

「宙の釣りが好きなので、一番張りのあるタイプを担当しました。誘いの間にカワハギがエサに近づくと『チクチク』とした明確なアタリ、それが目感度が変わったときに合わせれば掛かってくる縦の釣りに合っ調子です」

172AC 田中義博

「宙の釣りが好きなので、一番張りのあるタイプを担当しました。誘いの間にカワハギがエサに近づくと『チクチク』とした明確なアタリ、それが目感度が変わったときに合わせれば掛かってくる縦の釣りに合っ調子です」

「キャストして引いてくる横の釣りが得意な鶴岡さん、様々な釣り方をそつなくこなす三石さん、主に船下を縦の誘いで釣る田中さんと、実釣を見ていればだれでも分かる通り、3人の釣り方は三者三様。竿のタイプは異なるものの、それぞれの引き出しを駆使してアタリを出していく。」

この日の釣り場は久里浜沖、大雨の直後で潮はかなり濁っているうえ、二枚潮という悪条件ではあったが、3人は担当したモデルを巧みに使いこなし、次々と中大型を掛けていく。

「3人の熱意がこもっています。カワハギファンならぜひ一度手に取ってほしいモデルです」と熱く語る三石さん

「3人の熱意がこもっています。カワハギファンならぜひ一度手に取ってほしいモデルです」と熱く語る三石さん